

第3回 地域寺院倶楽部シンポジウム

寺院のつながり、その新たな形

2020年3月13日(金) 14:00～16:30 (受付開始 13:30)

社会の大きな変化のなかで、宗派や地域を超えた寺院のつながりが生まれています。

一人では心細く、動き出したくても、動き出せない。しかし、同じ志を持つ仲間がいることで、一歩前に踏み出せる。

今回は、新しい寺院同士のつながりについて考える機会にしたいと思います。

第1部 事例報告 (14:05～14:55)



おてらおやつクラブ

おてらおやつクラブは、お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。全国のお寺の「ある」と社会の「ない」をつなげ、貧困問題の解消に寄与することを目的としています。

福井良應

NPO法人おてらおやつクラブ理事、大阪芸術大学・大阪経済大学非常勤講師、真言宗御室派興山寺副住職。仁和密教学院を卒業後、慶應義塾大学を経て、株式会社博報堂入社。マーケターとしてブランディング、商品開発、コミュニケーション設計に従事。2018年博報堂退職後、現職。2018年度グッドデザイン賞大賞受賞。



SOCIAL TEMPLE (ソーシャルテンプル)

「一人では小さい力でも〴〵集まり持ち寄る。ことによってその力を大きくすることは出来るのではないだろうか」。僧侶も一般社会人の方も問題意識を共有する〴〵人が集まり、社会課題に仏教でアプローチし、解決に寄与していくことを仏道修行と捉え活動する。その目的を共有した〴〵人が収まる〴〵建物なき寺院、として、2018年、一般社団法人『SOCIAL TEMPLE』を設立しました。

近藤玄純

(一社) SOCIAL TEMPLE 代表理事、日蓮宗妙性寺住職、超宗派仏教徒「坊主道」代表。2016年山梨県内の超宗派の僧侶グループ「坊主道」を立ち上げ、お寺版子ども食堂「寺GO飯」、HP制作を通じた寺院活性化支援「お寺の活性化計画」、行政書士との連携による終活支援プログラム「ゆくすえサポート」、仏教・お寺メディア「お寺のじかん」を運営。

ティーブレイク(35分)

第2部 パネルディスカッション (15:30～16:25)

●コメンテーター



東海林良昌

1970年宮城県塩竈市生まれ。佛教学部文学研究科修士課程修了。東北大学文学研究科修士課程後期単位取得退学。小学生の時にボーイスカウトに入団し、社会奉仕する大人にあこがれを持つ。浄土宗宗議会議員、元全日本仏教青年会理事長、WFB(世界仏教徒連盟) 副事務総長、介護者サポートネットワーク・ケアむすび代表、佛教学部非常勤講師、浄土宗総合研究所研究員、雲上寺副住職。



松崎香織

一般社団法人未来の住職塾 理事。米国 Fish Family 財団 JWLI (Japanese Women's Leadership Initiative) フェロー。銀行で役員秘書を10年務めた後、2014年より未来の住職塾ならびに塾生コミュニティ(現在約630名)の運営に携わる。第33期全日本仏教会広報委員会委員、WFB(世界仏教徒連盟)日本センター運営委員会委員。「次世代のお寺の女性を考える会」を塾生の仲間たちと各地域で開催。

●司会

小川有閑 (大正大学地域構想研究所・BSR推進センター主幹研究員)

会場 大正大学 2号館8階 同窓会ホール

参加費 1,000円 (地域寺院倶楽部会員の方は無料)

※申込締切 3月7日(土)

※申込方法 申込用紙(裏面)に必要事項を記入し FAX: 03-5394-3093 へ。
メールの場合は、名前、住所、連絡先を記入し j_ishida@mail.tais.ac.jp まで

※主催 大正大学地域構想研究所・BSR推進センター

